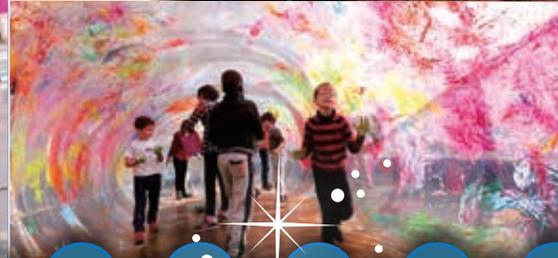
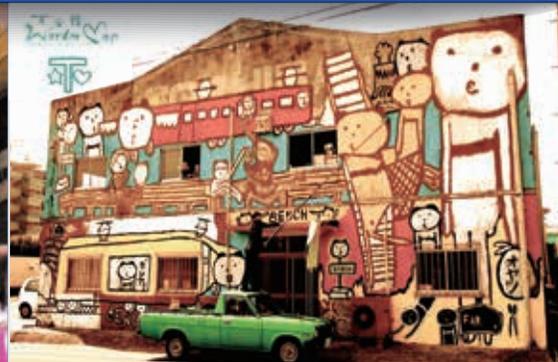
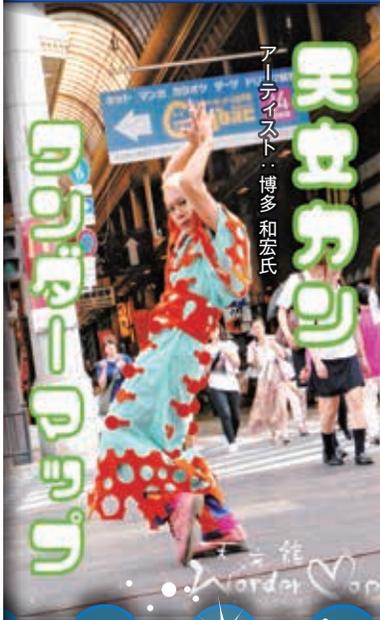


# ひとつべ!

本物。鹿児島県 ~文化維新は黒潮に乗って~

## かごしま国文祭

[平成27年10月31日(土)~11月15日(日)]



天文館がこれまで見たことのないアート空間に!

「第30回国民文化祭・かごしま2015」では、現代アートを楽しんで体験・体感し、まちなかをお祭り気分盛り上げるため、「まちなかインスタレーション」〜天文館ワンダーマップ〜を、10月31日(土)〜11月15日(日)、県内最大の繁華街・天文館各所で展開します(インスタレーション=空間芸術)。

プロデュースは、「吹上ワンダーマップ」(日置市吹上町2008年〜実施)でお馴染みの鹿児島市出身のアーティスト博多和宏氏。現代美術作家の椿昇氏(京都造形芸術大学教授)の新作展示をシンボルとして、全国から集まった新進気鋭のアーティストたちが、作品の公開制作、展示、ワークショップなどのパフォーマンスを繰り広げます。

「Wander」歩き回る、さまざまの「意味」から、「アート」に導かれ、地図を見ながら散策してほしい」という博多氏の思いを込めた「天文館ワンダーマップ」では、絵画作品はもちろんのこと、映像作品や知覚彫刻・建築・写真など、さまざまなジャンルの現代アートが一堂に会します。

### ●「シマ」にぎづく文化と新たな風(文化)のフェスティバル

大和村は、豊かな自然と、古来より伝統芸能・文化が地域行事とともに色濃く息づく、魅力あふれる村です。

そんな「まほろば・やまと」の魅力を広く知っていただき、後世に伝えるため、かごしま国文祭では、11月15日(日)大和村体育館にて、「シマにいきづく文化と新たな風(文化)のフェスティバル」を開催します。

ステージイベントは、3部構成となっております。

オープニングでは、「いにしへの文化」と

題して、「大和浜の棒踊り」など大和村の伝統行事を披露するとともに、祭礼文化の記録映像を鑑賞します。

続く「新たな風」ステージでは、現在、「大和村の情景」および「まほろばの情景」の2つのテーマで募集中の、フォトコンテストの入賞作品の表彰式を行います(入賞作品は国文祭期間中、大和村防災センターに展示)。

また、博物学者の荒俣宏氏による、自然と文化の関わりについての講演や、カラオケバトルなどで活躍し、祖父が大和村出身

### 〈大和村実行委員会〉

の城南海さんによるコンサートを開催するなど、多彩なプログラムとなっております。

フィナーレは、「シマジマの夜」と題し、相撲口上や前相撲を行った後、奄美の伝統芸能である各集落の「八月踊り」を、来場者と一緒に踊って締めくくります。

大和村の文化をまるごと一日満喫するイベントと、小さな村ならではのおもてなしで、奄美の文化を堪能してみませんか。皆さまのご来場をお待ちしております。

フォトコンテストのイメージ  
(場所:奄美フォレストボリス)



荒俣 宏氏



城南海さん



大和浜の棒踊り

【問い合わせ先】

県庁生活・文化課  
国民文化祭室  
☎099(286)2863



<http://kagoshima-kokubunsai.jp/>

HITTOBE! KAGOSHIMA KOKUBUNSAI